

# 日本原水協活動交流ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031 2016年  
FAX:03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com 2月5日発行

## ビキニデーを何としても成功させようと各地で奮闘開始！

今年の3・1ビキニデー集会は、被爆者と若者のアピール、各国の第一線で活躍する、すばらしい海外代表のみなさんの参加（マーシャル・イギリス・アメリカ・フランス）、3.11から5年目を迎える福島からの訴え、第五福竜丸をテーマにした朗読劇「ここが家だ」（東京芸術座9条の会・新劇人会議有志）など魅力いっぱいになるようとしています。各地の参加組織をはじめ、とりくみが本格的に始まっています。

### ●新しいステージでのビキニデー、必ず成功をと奮闘中：神奈川

今年のビキニデーは、被爆70年・NPT再検討会議を経ての核兵器廃絶運動が新しいステージに入った中で開かれる重要なビキニデーとして必ず目標180名の参加で成功させようと、取り組みも急ピッチで進められています。

民医連・医療生協神奈川は、早速13名の参加を申し込んできています。国際交流会議には、現在6名の参加申し込みがあります。英語の堪能な30代の新婦人会員の女性は、海外の人と交流したいと、国際交流会議からの参加を申し込んできています。

パンフレットは、1200部普及していますが、相模原市原水協では、16日に学習会を開催して、参加者を広げようとしています。

3日には、理事長、事務局長など3名で、神奈川県庁を訪れ、「ビキニ事件の神奈川県の被災実態」の発掘のため資料の「請求」を要請し、日本共産党神奈川県議員団との懇談を行いました。高知県や岩手県に学んで、三浦の被害調査の取り組みを進めています。ビキニ事件でマグロ漁船が大きな被害を受けた三浦三崎のある県として、静岡県の隣の県として、ビキニデーを成功させる大切な役割を持っている神奈川県。日程上厳しい人は、日帰りも含め参加者の目標をやり遂げようとがんばっている新婦人の皆さん。

現在、約50名とテンポが遅れています。県原水協事務局は、この1週間で目処をつけるため、各団体・地域に参加の要請を強めています。（笠木事務局長）

### ●現在94名の申込み！130名の目標を何としても：東京

2月2日、森田東京原水協代表理事と石村事務局長が、都庁関係の12の労働組合を訪ねて、3・1ビキニデー集会への参加とパンフレットの普及などをお願いして歩きました。

各労働組合では、「春闘の時期で忙しい時期ですが、機関会議で検討し、協力できることはしたい」との対応。

地域では、足立区の14名、世田谷区の10名からの申し込みがされています。武蔵野では、代表派遣の募金を集めて、4名の代表派遣をと奮闘しています。（石村事務局長）

### ★本日、「ビキニデーに参加したい」と電話が入りました！

盛岡にお住まいだという女性から本日昼ごろ電話。「（ビキニデーに）参加したくて電話しました。寄り道後、29日の朝から静岡に行けそう。個人でも申し込みできますか」というお問い合わせ。「ぜひ、参加を」とお話ししました。（事務局）